

平成 30 年度第 1 回 駒ヶ根市地域公共交通協議会 議事録

平成 30 年 6 月 21 日 午後 1 時 30 分～

駒ヶ根市役所 本庁舎 2 階 大会議室

1 開会（企画振興課長）

2 委嘱状交付

- ・丸山正彦 駒ヶ根警察署長、竹内鉄夫 北割 1 区区長、倉田文和 町 2 区区長、宮脇金朗 中沢区長、清水春雄 駒ヶ根高齢者クラブ連合会交通安全防犯対策部長、岩崎康男 一般社団法人駒ヶ根観光協会事務局長、宮本卓 国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局首席運輸企画専門官、宮島 克夫 長野県企画振興部交通政策課長、山邊英夫 長野県上伊那地域振興局企画振興課長の以上 9 名が新委員となりました。

<代表して竹内区長に交付>

3 会長あいさつ

- ・昨年 1 月に公共交通の利用促進事業として高齢者を対象に、自身の運転と地域の公共交通を考える「公共交通フォーラム」を開催し、多くの皆さんにご参加いただき、免許返納後も安心した生活を送るための公共交通を確保する各種施策について周知する機会となりました。
- ・運転免許自主返納の支援事業については、3 月末で 92 名の方へこまタク乗車券を贈呈するとともに、委員の皆さんから意見のあった、乗車券の有効期限を 2 年間に延長して高齢者による事故の減少と公共交通の利用促進を進めています。
- ・本年 3 月より、「こまタク」の周知や安定的な運行を目指し、ラッピングをした専用車を導入し、赤穂タクシーさんに運行していただいております。乗車環境の改善なども図られていると感じています。
- ・今年度も引き続き、「駒ヶ根市地域公共交通網形成計画」に基づいた各種事業を推進するために、国や県の補助事業を活用しながら取り組んで参ります。特に、本年度は五ヶ年計画である「網形成計画」の中間年度に当たることから、計画の運用状況や進捗状況などを評価検証するものとしており、こまタクの利用実績などのほか、市民の行動実態や意識について把握するため、市民アンケート調査を実施し、中間評価を行い、次年度以降の事業へ反映していきたいと考えています。
- ・前回 3 月の協議会でご報告いたしました「いいちゃんバス」の利用可能性に関するアンケート調査の結果を受けて、飯島町との協議に向けて、本日の協議会でご検討いただきたいと思います。
- ・本日は、平成 29 年度の事業報告及び決算報告と今年度の取り組みの状況等をご説明し、協議をいただきたいと思います。
- ・委員の皆様には、地域の公共交通全般や環境整備も踏まえ、ご意見等を頂戴したいと思いますのでよろしく願いいたします。

4 協議事項

(1) 平成 29 年度事業報告及び決算報告

(事務局より説明)

(宮脇監事 監査報告)

(会 長) 質問、意見はありますか。

※意見無し 承認

(2) 駒ヶ根市地域公共交通網形成計画の設定目標に対する評価

(事務局より説明)

(会長) 計画を策定し2年目です。まだ着手していない事業もありますので、大きく見直しをする段階ではないと思います。初期の目標を達成できるように、引き続き3年目の事業に取り組んでいきます。また、市民意向調査の結果により評価する項目については、本年度実施する市民アンケートにより評価して参ります。

(3) 駒ヶ根市地域公共交通網形成計画に基づく事業支援業務の委託契約 (案)

(事務局より説明)

(会長) 質問・意見はありますか。

※意見なし 承認

(会長) それでは案の字を消してください。本内容で委託契約を進めます。

(4) 生活交通確保維持改善計画 (案)

(事務局より説明)

(会長) 質問・意見はありますか。

※意見なし 承認

(会長) それでは案の字を消してください。本内容で計画を進めることとします。

(5) 公共交通に関する市民意向調査の実施について

(事務局より説明)

(会長) 質問・意見はありますか。

※意見なし 承認

(会長) それでは本内容で調査を実施していきます。中間評価を行った上で、12月の協議会で報告させていただきます。

(6) いいちゃんバスに関する今後の取り組みについて

(事務局より説明)

(会長) 質問・意見はありますか。

※意見なし 承認

(会長) 駒ヶ根市公共交通協議会として本件について進める方向性の合意をいただきましたので、飯島町の公共交通会議にて検討いただくようお願いしていきます。

5 報告事項

(1) こまタク利用実績及び割引タクシー券の利用実績

(事務局より説明)

(会 長) 質問・意見はありますか

※ 意見なし

(2) 運転免許証自主返納支援事業の状況報告

(事務局より説明)

(会 長) 質問・意見はありますか

(北原委員) 前回、こまタク乗車券の利用期限の延期をお願いしたところ、1年間から2年間へと延長していただきありがとうございました。

6 その他

(会 長) 本日本日予定している協議事項は以上になりますが、上伊那地域振興局より資料をいただいていますので説明をお願いします。

(山邊委員) リニア中央新幹線長野県駅とのアクセス調査事業意向調査結果概要を説明

(会 長) 質問・意見はありますか

※意見なし

(会 長) 運輸支局、県より何か情報等があれば提供をお願いいたします。

(宮本委員) 資料4の補足ですが、駒ヶ根市生活交通確保維持改善計画は国の補助金を取るためのものであり、国土交通省あてに申請をいただくもの。

先週末に信濃毎日新聞で喬木村村民バス2路線撤退の件が報道された。

撤退の2路線についてもフィーダー系統維持計画ということで喬木村協議会にかけ、その系統の必要性ををといて、国の補助金を受けている状況。

信南交通の撤退理由については、運転手確保ができないと大きく取り上げられ、バス、タクシー、トラック等関係なく、自動車の運転手が切迫している状況。しかし、交通産業の運転手有効求人倍率をみると鉄道、船舶、

航空の有効求人倍率は1割程度だが、自動車は約2倍となっており、ここ数年で上昇傾向にある。

2010年～2030年の間で生産年齢人口毎年1%ずつ減少することが見込まれている。今後の人材確保がより困難な現状がある。伊那バスがすぐ信南交通のように撤退するという話ではないが、全国的にそういうような流れはある。いずれにしても地域公共交通の確保については、自治体が主体

となって関係機関を巻き込んで持続可能なネットワークを形成していただきたい。国としても協力していきたい。

(長野県) 喬木村の件の話があったが、運転手の不足につきましては国の話のあったとおりです。県としても危機感を持って取り組んでいかなければならない

と思っています。

(会 長) 国の方で定期タクシー券のモデル事業について。駒ヶ根市もタクシーが動いていないような時間帯があれば定期タクシー券について検討した

い。例えば国のモデル事業に手をあげたらモデル事業にしてもらえるのか。協議会で決めればいいのか。

(宮本委員) 諏訪市のほうで先行して動いている。まず、この協議会でこの必要性があるということであればこの場で議論していただきたい。なお、ここで決まったからと言ってすぐに実現するかは別の問題である。より良い策を検討してほしい。

(会 長) 国の方でも実証実験等取り組みは進めているということで承知していただい
よいか。

(宮本委員) いくつかの協議会の中でそういうことをやり始めたという実情が出てき
ている中で、タクシーの運賃制度も絡んでおり、なかなか難しい状況。

(会 長) より地域資源を生かしていく取り組みが進められているということ。タク
シー会社含めて、運転手を確保していくにはまず仕事を作っていかなければ
いけない。駒ヶ根市もできればこういう検討を進めていきたい。九州
の JTB の事業では、停留所を2か所程度指定して昼間に一定期間行き来
する。定期券は4～5万程度。客の少ない昼間を制度にしているが、こま
タクは時間が決まっている。決まっている時間以外に自分が自由に乗り
たい場合には選択肢がほしいと思う。

どういう時間ならこういうことができる、など、いろんなアイデアがあるので
少しずつ検討していきたいがよろしいか？

※承認

(清水委員) 停留所の関係だが、利用者をもっと多くするにはショッピングセンター
の停留所を増やす必要がある。これを見ると農協とベルシャインしかない。
デリシアやツルヤなどを増やせばもっと利用者が増えるのではない
か。

また、免許証を返納したら、警察の方から講習を受けた。その際、ラク
ーターは自動車かと聞いたところ、歩行者と同じように歩道を歩いてく
ださいとのこと。ラクーターを利用する人がこれから増える。今は道が
せまく、車道を走っていると普通の運転手から苦情がくるため、歩道を
整備してほしい。免許証を返納しても安心して買い物ができる道路整備
づくりを進めてほしい。

(会 長) 検討します。

7 閉 会 (企画振興課長)